

第60回試験研究成果発表会（野菜Ⅱ）発表概要

【日 時】 令和4年12月6日（火）13:05～15:45

【場 所】 長生合同庁舎大会議室（茂原市茂原1102-1）

発表1 成果発表

4～5月のネギ端境期を縮小する栽培技術の確立（1）～春ネギの出荷延長技術～

水稻・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 大川 佳織

春ネギ栽培では、4月下旬は抽台が多くなり端境期となりますが、極晩抽性品種「初夏扇2号」及び「羽緑2号一本太」を用いることで抽台率を抑え、4月下旬までの安定出荷が可能となります。これらの品種を使用して、4月下旬に棒ネギや軟白不足のネギの発生が少なく、正品の出荷量を確保するために好適な播種-定植期や栽培の注意点について紹介します。



極晩抽性品種「初夏扇2号」（左）

発表2 成果発表

4～5月のネギ端境期を縮小する栽培技術の確立（2）～夏ネギの早期出荷技術～

水稻・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 大川 佳織

2条トンネルを用いた夏ネギ栽培では、早期出荷のための栽培技術の指標が曖昧で出荷が安定するのが5月中旬以降となっています。そこで、夏ネギを5月初旬から出荷するための栽培方法、特に厳冬期から春先のトンネルの適切な温度管理方法、トンネル除去後の土寄せの頻度について紹介します。



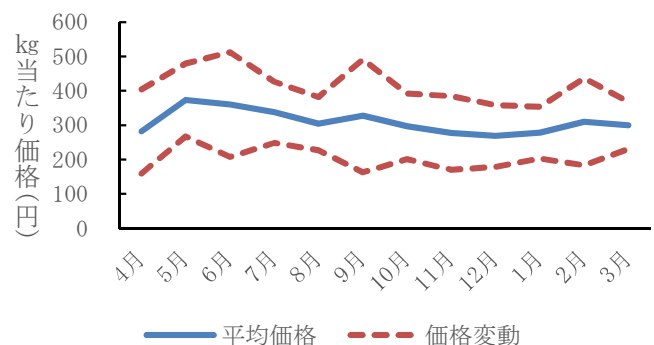
2条トンネルを用いた夏ネギ栽培

発表3 成果発表

ネギ栽培における4～5月どり新作型導入による所得向上効果の推定

研究マネジメント室 西方 圭

千葉県ネギ栽培は主に4～5月が端境期となっています。新たに開発した、極晩成品種を用いた春ネギの収穫延長技術（4月どり）と、2条トンネルを用いた初夏ネギ栽培（5月どり）の2つの作型を導入することで、どれほど所得向上効果があるのか試算しましたので紹介します。



東京中央卸売市場におけるネギの月別平均価格と価格変動（2012年～2021年平均）

発表4 成果発表

ハゼリソウを植栽した秋冬ネギ圃場における土着天敵を活用したネギアザミウマの防除

病理昆虫研究室 大谷 徹

ネギの圃場周囲にハゼリソウを植栽して天敵の発生を促し、ネギアザミウマの増加を抑制する防除技術を紹介します。秋の土寄せ後にアザミウマが増加したときには殺虫剤の散布が必要になりますが、天敵のキイカブリダニの働きを維持したまま防除できる薬剤を選定しました。また、最近千葉県でも定着している、新しい系統を含むネギアザミウマの薬剤感受性を明らかにしました。



ネギ圃場周囲に植栽したハゼリソウ



ネギアザミウマを捕食する天敵
キイカブリダニ

発表5 成果発表

ハウス抑制トマトの優良品種の選定（第72回全日本野菜品種審査会）

～黄化葉巻病に強く、多収の新品種～

野菜研究室 橋本 奈都希

第72回全日本野菜品種審査会において、抑制トマトの優良品種の選定を行いました。選定された優良品種は、「TY みそら 109」、「19K974017」、「C9-178 (SC9-178)」、「はれぞら」、「AS-379」の5品種です。黄化葉巻病に耐病性を有し、収量性に優れた各品種の特徴を紹介します。



1等特の「TY みそら 109」



収穫物審査

発表6 情報提供

おいしくて大玉多収となる「チーバベリー®」の栽培のコツ

野菜研究室 町田 剛史

「チーバベリー®」（品種名「千葉 S4 号」）は平成 27 年に品種登録され、県内のイチゴ狩り園を中心に好評を得ています。これまでの試験結果や現地での優良事例の聞き取りなどから、「チーバベリー®」の品種特性を活かした、おいしくて大玉多収となる栽培のコツをお伝えします。



大粒の「チーバベリー®」



初期の多収が狙える 2 株苗（左）